

2008年6月14日岩手・宮城内陸地震
秋田県湯沢市周辺被害調査速報

秋田県立大学 板垣直行

1. 調査の概要

2008年6月14日午前8時43分に発生した岩手県内陸部を震源とする地震（M=7.2）被害について、秋田県湯沢市周辺の被害調査を行った。

2. 調査行程

6月15日(日)

- 8:30頃 由利本荘市出発
国道107号線→出羽グリーンライン→国道398号線
- 9:30頃 湯沢北小学校（Kik-Net湯沢）
- 9:45頃 湯沢市中心市街地付近（商店街）
- 10:30頃 湯沢市皆瀬皿小屋付近
- 11:00頃 湯沢市皆瀬小安峡温泉付近（栗駒フーズ：湯沢市皆瀬字桂沢）

3. 各調査地点の被害状況

(1)湯沢北小学校（湯沢市字富士見99； Kik-Net湯沢 計測震度）

- ・ 周辺は田んぼに囲まれた平坦地。（写真1）
- ・ 震度計は校庭脇に設置。（写真2, 3）
- ・ 校舎、体育館外部を1周したが、被害は見当たらなかった。



写真1 湯沢北小学校周辺



写真2 Kik-Net湯沢



写真3 Kik-Net湯沢設置状況



写真4 湯沢北小学校状況

(2) 湯沢市中心市街地付近（商店街）

- ・ 地震によると思われる外壁の剥離、撤去作業。（写真5,6）
- ・ ニュースで報道されていたと思われる外壁の剥離跡。（写真7）
- ・ ブルーシートで覆われていた建物と同一の建物。かなり劣化が進んでいたと考えられる。（写真8）



写真5 外壁の撤去作業（国道13号線沿い）



写真6 剥離の様子



写真7 外壁仕上げの剥離跡



写真8 写真7の建物

(3) 湯沢市皆瀬皿小屋付近

- ・ 湯沢市HPにも掲載されている国道398号線の被害。ダム側に道路が崩れている。(写真9, 10)
- ・ 坂を下ったところでずれが生じている。この地割れが田んぼの方までつながっているようであった。(写真11, 12)
- ・ すぐそばの墓地で墓石の転倒がみられた(写真13, 14)。倒れ方は必ずしも方向性が見られなかった。



写真9 道路の崩れ(国道398号線)



写真10 亀裂の様子



写真11 坂を下ったところの地割れ



写真12 田んぼ側から写真11の地点を望む



写真13 墓石の転倒



写真14 墓地の周辺

(4) 湯沢市皆瀬小安峡温泉付近（栗駒フーズ：湯沢市皆瀬字桂沢）

- ・ 小安峡温泉付近でも建物の被害は特にみられなかった。
- ・ 栗駒フーズ株式会社にて伺ったところ、建物の被害はほとんどなかったものの、設置された製造機器で被害があったとのこと。シャッターカバーが外れて落ちていた。（写真15, 16）また使用している湧き水が濁ってしまい、しばらくは製造を中止の予定。
- ・ 付近の道路脇に積んであった薪が崩れていた（写真17）。作業者に伺ったところ、近所の自宅では、家具が倒れたりしたものの被害は無かったとのこと。



写真15 栗駒フーズ工場



写真16 シャッターカバーの落下



写真17 薪の崩れ